

経営比較分析表（令和6年度決算）

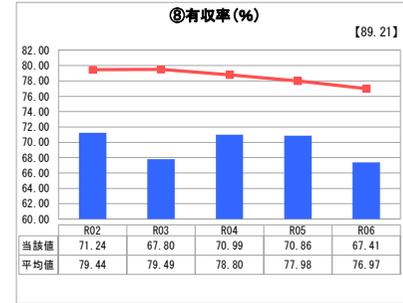
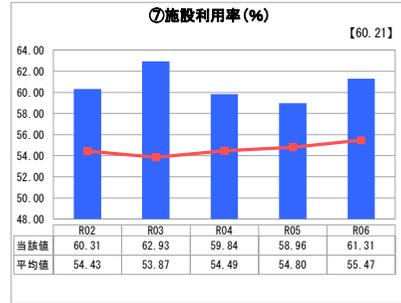
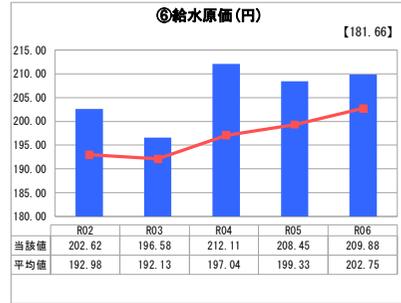
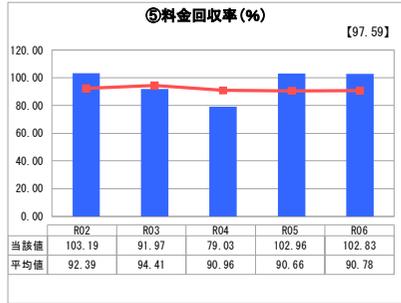
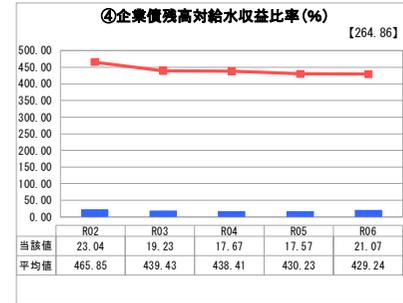
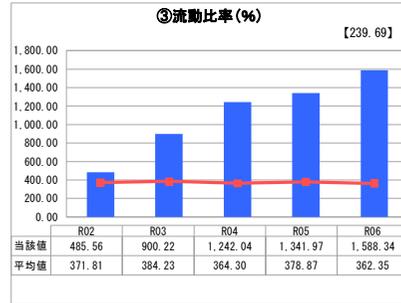
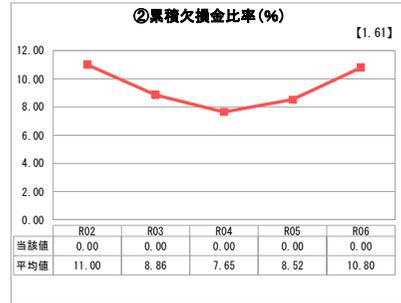
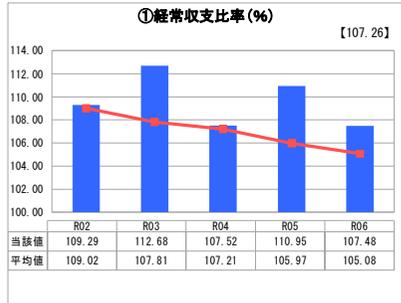
埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	95.68	99.78	3,465	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,757	40.39	266.33
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,643	16.62	640.37

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

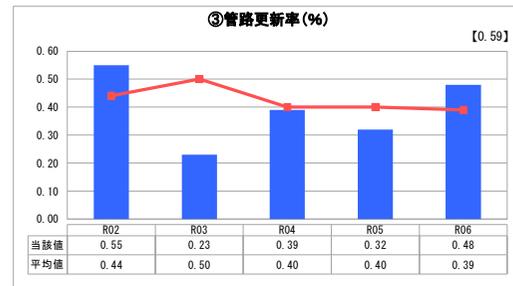
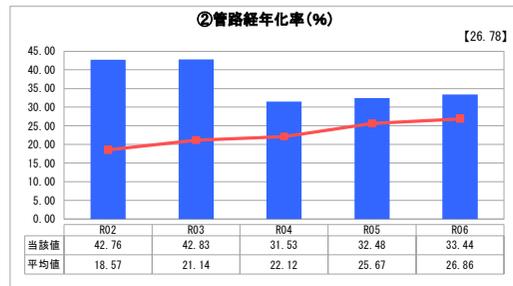
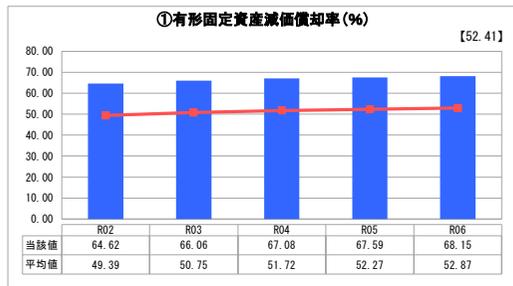
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、100%を超えているが、令和5年度以前と比較すると物価高騰などの影響を受け下降している。今後も物価高騰や人口減少などの社会情勢を注視しながら水道料金の見直しを検討する。
 ② 平成27年度に料金改定を実施したことにより、経常収支が毎期黒字になっていることから累積欠損金は発生していない。
 ③ 流動比率は100%を超えていたが、老朽化している管路や施設の更新が必要であることから、流動比率に注視しながら事業を推進する。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体及び全国平均と比較すると低い水準となっているが、老朽化している管路や施設の更新が先送りになっていることから今後計画的に更新を行う必要がある。
 ⑤ 令和3年度、令和4年度に新型コロナウイルス感染症対策として基本料金の免除を実施したことにより一時的に給水収益が減少し料金回収率は100%を下回ったが、令和5年度以降は新型コロナウイルス感染症対策を実施する前の水準に回復した。
 ⑥ 物価高騰の影響を受け給水原価は上昇傾向にある。また、漏水などの影響により類似団体と比較して高くなっている。
 ⑦ 施設利用率は類似団体平均及び全国平均を超えているが、人口減少や節水機器などの普及により給水収益が減少傾向であるため、適正な事業規模を検討していく必要がある。
 ⑧ 有収率は類似団体及び全国平均を大きく下回っている。漏水調査を実施し、有収率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体及び全国平均と比較して高い水準となっている。計画的な更新を進める必要がある。
 ② 管路経年率は令和4年度に配水管布設替え工事を実施したことで大きく減少した。今後も計画的な更新工事を進める必要がある。
 ③ 管路更新率は類似団体と比較すると高い水準となった。対応年数を超える管路が多く、今後も計画的に更新を進める必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率は100%を超えているが、人口減少や節水機器の普及に伴い給水収益が減少することが見込まれる。これに対する支出については、物価高騰の影響を受け増加することが見込まれている。浄水方法等を含めた根本的な運営の見直しを図り、経費削減を推進しなければならない。また、現行の水道料金は平成27年を最後に見直しを行っていないため、水道事業の経営状況や社会情勢を注視し、料金改定の検討を行う必要がある。
 施設の更新については、耐用年数を超える施設や管路の増加が顕著であるため、計画的に更新を行う必要がある。

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	99.02	9.87	93.72	1,925

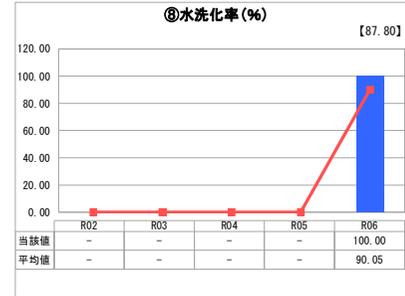
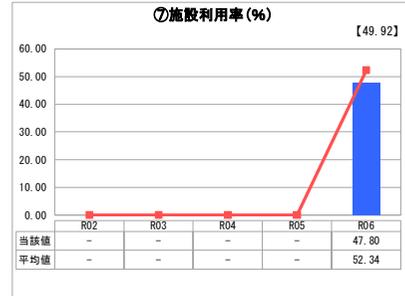
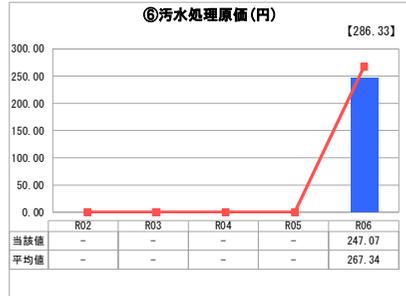
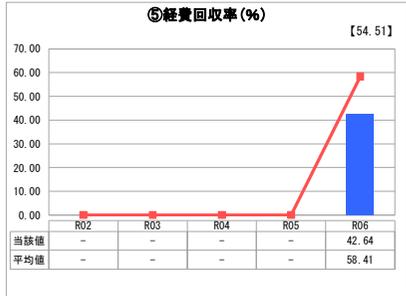
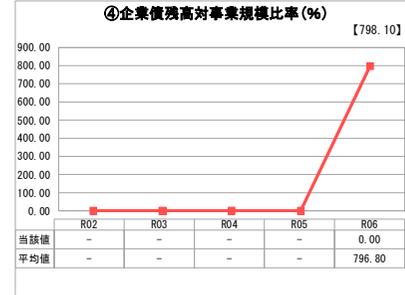
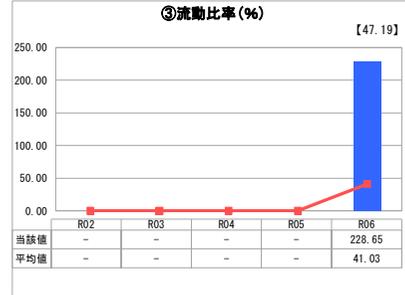
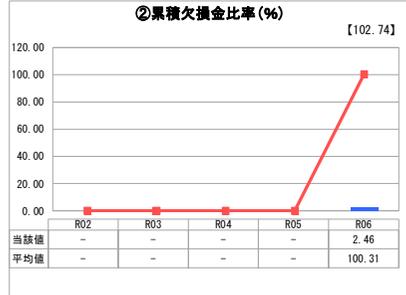
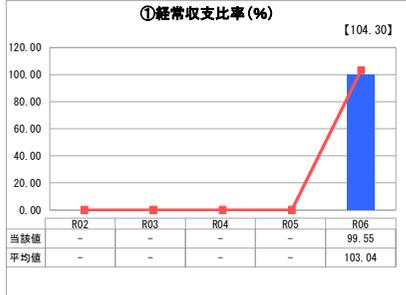
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,757	40.39	266.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,053	1.24	849.19

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

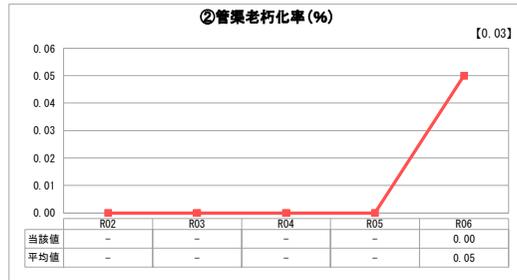
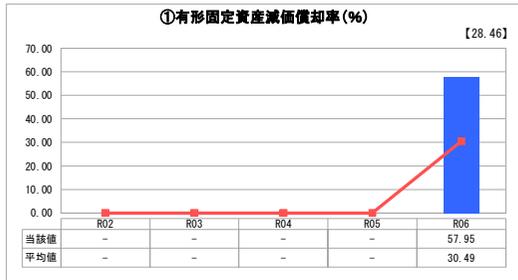
1. 経営の健全性・効率性について

法適用初年度であるため、前年度比較はない。
 ①経常収支比率は令和7年10月より公共下水道組合の下水道使用料の改定に伴い越生町農業集落排水使用料も改定したが、近年の人口減少等により下水道使用料収入が減少し経常収支比率が100%を下回った。
 ②累積欠損金比率は類似団体平均値よりも大きく下回ってはいるが0%ではないため、使用料収入の確保と維持管理費の削減に努め経営の効率化を図る必要がある。
 ③流動比率は類似団体平均値を大きく上回っており、100%も大きく超えているが、今後の給水収益の減少を踏まえると、引き続き経営努力が必要である。
 ④経費回収率は類似団体平均より大きく下回っていることから、令和7年10月より公共下水道組合の下水道使用料の改定に伴い越生町農業集落排水使用料もあわせて改定した。
 また、処理施設の老朽化が進んでおり計画的な修繕・改修も含めて総合的に進めていく必要がある。
 ⑤汚水処理原価は類似団体平均値より下回ってはいるが、経費回収率が100%未満なのでさらなる経費削減が必要となる。
 ⑥施設利用率は処理施設の老朽化による処理能力の低下が著しいことから、施設の統廃合を視野に入れ、適切な維持管理を行う。
 ⑦水洗化率は100%なので現状を維持していきたい。

2. 老朽化の状況について

昭和63年の供用開始から既に古い施設は37年が経過する。まだ老朽化の域に達していないが、今後の施設改修に向けた費用及び改修予定年度を想定したシミュレーションを行い、具体的な施設ごとの計画を策定することが必要となる。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和7年度は下水道使用料の改定があったが、近年の人口減少等、処理区域人口に見合った処理施設の運用を念頭に統廃合の検討も併せて進めていき、包括的に安定した運営ができるよう努める必要がある。
 老朽化の状況については、今後とも緊急性や重要性を考慮し、効率的な修繕・改修を行いたいと考えている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。